

	日 時	平成 28 年 12 月 10 日 (土)	10 : 30 ~ 13 : 00
	場 所	(公財) 名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター11 階 ホール (名古屋市中区金山町一丁目一番一号 金山南ビル内)	
	出席者	参加者総数 25 名 (フォローアップ委員、公社含む)	

総合司会の阿武委員より開会の挨拶

- 1 会長挨拶 10 : 30 ~ 10 : 40 なごや歴まちびとの会 会長 野村 昭男

発表会も早くも第4回を迎え、より多くの会員の皆様に派遣の体験を経験して頂きたい。その上で各地域での伝統建築との関わりや保存などの活躍を期待している。
- 2 派遣制度について 10 : 40 ~ 10 : 55 (公財) なごやまちづくり公社 主査 安田 博幸

派遣対象建造物及び派遣業務の流れ(募集、選定、派遣、報告等)の概略説明と今年度の派遣実績5件、実施中4件の紹介あり。尚、公社としては派遣の範囲は助言指導までで完了、改修工事は派遣業務の範囲外としている。

3 派遣体験発表 10 : 55 ~ 11 : 30

10 : 55 ~ 11 : 10 藤澤末吉氏・・・平成 28 年度 (33) 熱田区神宮 3 丁目 7-21 きよめ餅総本家

*相談内容は耐震性能調査と外壁劣化調査で、派遣は28年3月2日である。

昭和30年建築の木造2階建てである。用途は1階が店舗、2階は住居(小屋裏含む)、全体的に壁量が少なく外部廻りの老朽化が著しいことから構造的には倒壊の恐れがある。補強方法として地盤・基礎の補強、壁の増設屋根を含む外壁面等の補修などを提案した。相談者の対応は今回の資料を参考に何から手を付けたら良いかを考え、建物の維持・管理にあたりたいとのこと。改修費用としては、高額になることから熱田の顔としてのきよめ餅総本家を残す方法がないものかと感じた。個人から地域を巻き込んだ、伝統的町家に対する保存再生を模索する。

11 : 15 ~ 11 : 30 稲田進一氏・・・平成 25 年度(16)南区呼続一丁目 10 番 23 号 隠れ家ギャラリーえん

*相談内容は実測調査による耐震診断であり、派遣は25年3月~4月であった。

昭和3年頃建築となる平屋店舗と後方住居2階建ての木造で80年が経過する。実測調査による平面図作成から耐震診断を行ったが、壁量が少なくバランスも悪いことから、予想通りの悪い判定値となった。相談者は今後も店舗としての使用が意向のため、耐震補強と現状での間取りを生かして使用していくアドバイス等が必要と考える。

4 パネルディスカッション 11 : 45 ~ 13 : 00

*コーディネーター：鈴木祥司委員長 パネリスト：稲田進一、魚津忠弘、笠嶋淑恵、佐藤博司、藤澤末吉

テーマを委員長が選んでパネリスト・参加者が討論 : *派遣事例により見えてきたこと

*今後の課題と解決方法へのアプローチ

*歴まちびとのこれからの役割

*派遣者の選定方法について・・・ (公財) なごやまちづくり公社 主査 安田 博幸

パネリストの体験コメント、提案

稲田進一：ギャラリーえんの派遣は、所有者が店舗を賃貸して経営すると状態から見ると、耐震診断に基づく改修費用を捻出することが大変難しい。経営方針を含めて、もう少し踏み込んだ働きかけが必要に感じる。

魚津忠弘：文化財、伝統建築の設計施工から見て、派遣業務としての現況調査は大変有意義と考える。たとえ、それが費用や時間に制約されて十分な成果品ではないにしても、又、不確実な少ない調査であっても次の保存活用には必ず重要な資料となるに違いない。

笠嶋淑恵：名古屋のまちを見ると古い街並みや建物が残っているにもかかわらず、十分に活用されていないと感じる。よって、歴史的建築物を活かした文化的な街づくりを提案するような専門的な提言が必要と考える。

派遣も耐震診断に偏るのではなく、目的を明確にした文化に寄与するような積極的な活動を望みたい。

佐藤博司：派遣で感じることは、相談者は大切に保存してきた建物が老朽化して、どこに相談したらよいかわからないでいることが共通にある。そこで、派遣としては相談相手との意思疎通を図り、良い関係を作ることで、そこから先の街づくりの提言が出来るようになればと考える。

藤澤末吉：派遣調査の経験で言えることは相談者は建物を残す方法を分からないでいる。そして派遣者には専門的な考えを聞いて、その道筋を尋ねていると感じた。公社からの派遣業務はこうした保存再生の相談に答え、それ以後の具体的な問題は単独で対応したい。

参加者の意見

- ：耐震相談の派遣が多いのは古い建物を所有している相談者が地震を恐れる直面した気持ちにある。専門家に依頼するのが最善であるが、名古屋市無料耐震診断の制度が誰でも利用できる。
- ：現地調査に行くと建物は大丈夫かとよく聞かれるが安易に即答は出来ない。課題として派遣のマニュアルが必要ではないのかと考える。ルールを決めて所有者とどうやって接するのかを決めたら良い。
- ：派遣ではよく改修費用の提示を求められるので、専門業者を紹介して見積り提出になる。相談者の最も気になることとは思いますが、それだけでよいのかと考えてしまう。
- ：名古屋の魅力的な街づくりは発掘場所のある地域を限定して考え、提言するのも一つの方法と考える。

コーディネーター：鈴木祥司委員長

今回は初めてのパネルディスカッションであり、派遣という歴まちびとのにとっては重要な課題でもある事から多くの課題が提示された。時間の制限もあって、結論やまとまりに不十分な点もあったが、今後の課題として、次のフォローアップ講座のステップアップにしたい。

5 閉会挨拶

13:05

名古屋まちづくり公社の稲垣様より、2件の発表、及びパネルディスカッションはそれぞれ大変参考になり、これからの歴まちの派遣活動に参考にしたいとの挨拶があり閉会となりました。長時間に渡って司会をされた阿武委員、鈴木委員長、池田副委員長始め各委員の皆様、ありがとうございました。



初めての試みとなったパネルディスカッション

(文責：猪飼)